

上智大学公開学習講座ご案内：講座番号 0125

上智大学中世思想研究所企画
実践哲学の基礎づけ

— 古代・中世・ルネサンスを通じて —

人間は自己意識を持ち、自由選択を通して自己を実現する、根本的に実践的・倫理的な存在です。哲学は古代から人間の実践的性質と尊厳を主題とし、自由の成立根拠と決断、人生の意義と徳、愛の本質とその諸段階、善と幸福、友愛と感情などをテーマとし、ゆたかな人間像を展開してきました。本講座では、実践哲学の発展を、古代・中世・16世紀ルネサンス期の思想家の文献を和訳で講読しながら、上記の問題を思想的・体系的に考察します。哲学や思想史の知識を前提としません。

講師：クラウス・リーゼンフーバー（上智大学名誉教授・同中世思想研究所元所長）

専門：中世哲学、西洋思想史

曜日・時間帯：水曜日 19:00～20:30（全12回）

- 04/15 ソクラテス、プラトン（前4世紀）：幸福と善
- 04/22 アリストテレス（前4世紀）I：徳としての倫理
- 05/13 アリストテレスII：友愛論
- 05/20 ストア学派、セネカ（1世紀）：自由意思と徳
- 05/27 ニュッサのグレゴリオス（4世紀）：愛と超越
- 06/03 アウグスティヌス（5世紀）：自己認識と愛
- 06/10 ベルナルドゥス、リカルドゥス（12世紀）：自由と愛の段階
- 06/17 トマス・アキナス（13世紀）：倫理的行為と習慣
- 06/24 エックハルト、タウラー（14世紀）：内なる人間と浄福
- 07/01 ヴァッラ、ピコ・デッラ・ミランドラ（15世紀）：ルネサンスの人間像
- 07/08 ルター、エラスムス（16世紀）：予定と自由意思
- 07/15 十字架のヨハネ、ロヨラのイグナチオ（16世紀）：観想と親愛

テキスト：K・リーゼンフーバー著『西洋古代・中世哲学史』

平凡社ライブラリー（本体価格1,400円、ISBN:978-4-582-76357-7）

※定員に限りがございますので、お早めにお申込みください。

連絡先：上智大学公開学習センター TEL:03-3238-3552

受講料（税込）：32,400円

*当チラシは、企画元、上智大学中世思想研究所が作成したものです。